



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社トクヤマ

上場取引所 東

コード番号 4043

URL <http://www.tokuyama.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 幸後 和壽

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 兼
広報・IRグループリーダー

(氏名) 中原 毅

TEL 03-6205-4832

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	207,920	10.0	12,508	353.6	9,835	—	7,491	—
25年3月期第3四半期	189,058	△10.4	2,757	△74.0	△109	—	△10,842	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 10,850百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △8,376百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	21.53	—
25年3月期第3四半期	△31.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	532,325	232,691	42.5	650.39
25年3月期	518,251	223,871	42.0	625.29

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 226,269百万円 25年3月期 217,554百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	3.00	3.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	286,000	10.6	18,000	165.8	14,000	333.1	10,000	—	28.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成26年1月31日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	349,671,876 株	25年3月期	349,671,876 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	1,773,018 株	25年3月期	1,742,749 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	347,914,599 株	25年3月期3Q	347,939,642 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
(4) 追加情報	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	P. 8
四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常損益	四半期純損益
平成26年3月期 第3四半期連結累計期間	2,079	125	98	74
平成25年3月期 第3四半期連結累計期間	1,890	27	△1	△108
増減率	10.0%	353.6%	－%	－%

(売上高)

多結晶シリコンの販売数量の減少等はありませんでしたが、セメント及び関連製品の販売数量の増加、石油化学製品の販売価格は正及び塩化ビニルモノマーのプラントトラブルの影響が解消されたことによる販売数量の増加等により、前年同期より188億61百万円増加し、2,079億20百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

(売上原価)

多結晶シリコンの販売数量の減少及び全社を挙げての徹底した費用削減等はありませんでしたが、塩化ビニルモノマー、セメント等の販売数量の増加及び国産ナフサ価格の上昇等により、前年同期より101億72百万円増加し、1,512億43百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

(販売費及び一般管理費)

多結晶シリコンの販売数量の減少に伴う物流費の減少及び全社を挙げての徹底した費用削減等により、前年同期より10億60百万円減少し、441億68百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

(営業利益)

全社を挙げての徹底した費用削減等により、前年同期より97億50百万円増加し、125億8百万円（前年同期比353.6%増）となりました。

(営業外損益・経常損益)

営業外損益は、支払利息及び休止部門費の増加等はありませんでしたが、前年同期に計上した為替差損が為替差益に転じたこと等により、前年同期より1億94百万円改善しました。そのため、経常損益は、99億45百万円改善し、98億35百万円の利益となりました。

(特別損益・税金等調整前四半期純損益・少数株主損益調整前四半期純損益・四半期純損益)

特別損益は、前年同期に計上した株式会社エクセルシャノンの事業再構築引当金繰入が当期は発生しなかったこと等により、前年同期より11億8百万円改善しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純損益は、前年同期より110億53百万円改善し、93億76百万円の純利益となりました。

少数株主損益調整前四半期純損益は、前年同期に発生した繰延税金資産の取崩しが当期は発生しなかったこと等により、前年同期より179億86百万円改善し、73億85百万円の純利益となりました。少数株主損益調整後の四半期純損益は、前年同期より183億34百万円改善し、74億91百万円の純利益となりました。

(セグメント別の状況)

売上高

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニティー				
平成26年3月期 第3四半期 連結累計期間	64,016	35,241	58,147	40,582	35,782	233,770	△25,850	207,920
平成25年3月期 第3四半期 連結累計期間	57,562	36,594	52,947	36,766	29,793	213,664	△24,606	189,058
増減率	11.2%	△3.7%	9.8%	10.4%	20.1%	9.4%	—	10.0%

営業利益又は営業損失(△)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニティー				
平成26年3月期 第3四半期 連結累計期間	1,398	2,310	4,773	3,083	3,439	15,005	△2,497	12,508
平成25年3月期 第3四半期 連結累計期間	358	△1,247	3,993	1,758	1,871	6,733	△3,976	2,757
増減率	290.3%	—%	19.5%	75.4%	83.8%	122.8%	—	353.6%

(注) 1 上記の売上高、営業利益又は営業損失(△)にはセグメント間取引を含めております。

2 第1四半期連結会計期間より、従来の「機能部材」セグメントを「ライフアメニティー」セグメントに名称を変更しておりますが、名称変更のみであり、当該報告セグメントの事業内容に変更はありません。

また、業績管理をより適切に行うため、従来は調整額に含めていた費用のうち、各セグメントへの関連が明確な費用については、各セグメントに直接負担させる方法に変更を行っております。

なお、平成25年3月期第3四半期連結累計期間においても、変更後の基準に基づき作成しております。

(化成品セグメント)

塩化ビニルモノマーは、前年同期に発生したプラントトラブルの影響が解消したことに加え、円安により輸出価格が上昇し、増収となりました。

苛性ソーダは、上記のトラブルの影響が解消され電解プラントの稼働率が改善したため、国内向け販売数量が回復しました。

塩化ビニル樹脂は、国産ナフサ価格の上昇に対応するため、販売価格の是正に取り組みました。

以上の結果、当セグメントの売上高は640億16百万円(前年同期比11.2%増)、営業利益は13億98百万円(前年同期比290.3%増)で増収増益となりました。

(特殊品セグメント)

多結晶シリコンは、半導体向けについては市場が回復基調にあるものの、サプライチェーンにおける在庫調整等により、販売数量が減少しました。また、太陽電池向けについても供給過剰による市況低迷が続く中、利益重視の販売戦略を取り、販売数量が低調に推移しました。

乾式シリカ及び電子工業用高純度薬品は、原燃料価格の上昇に対応するため販売価格を是正し、円安による輸出価格の上昇もあり、増収となりました。

窒化アルミニウムは、半導体市場の回復に伴い、増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は352億41百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は23億10百万円となりました。

(セメントセグメント)

セメントは、国内向けは需要の回復に伴い販売数量が増加しました。また、平成25年6月にTokuyama Nouvelle Calédonie S.A.を子会社化したこともあり、増収となりました。

資源環境事業は、セメント生産量増加に伴い廃棄物受入量が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は581億47百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益は47億73百万円（前年同期比19.5%増）で増収増益となりました。

(ライフアメニティーセグメント)

プラスチックレンズ関連材料は、平成23年に発生したタイ洪水によるサプライチェーンへのダメージからの回復により、販売数量が増加しました。

ポリオレフィンフィルムは、原料価格上昇に対応するため販売価格を是正し、拡販に努めた結果、増収となりました。

歯科器材は、海外向けの拡販及び円安による輸出価格の上昇等により、増収となりました。

樹脂サッシは、事業再構築を推し進め、住宅着工件数の回復を背景に拡販に努めた結果、販売数量が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は405億82百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益は30億83百万円（前年同期比75.4%増）で増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,323億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ140億73百万円増加しました。

主な要因は、マレーシアでの多結晶シリコン製造設備建設等による有形固定資産の増加によるものです。一方、建設資金支払への充当目的で保有していた預金と有価証券は減少しました。

負債は2,996億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億53百万円増加しました。

主な要因は、マレーシアでの建設資金支払のために締結した中期コミットメントライン契約に基づく短期借入金調達によるものです。

純資産は2,326億91百万円となり、利益剰余金とその他の有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末に比べ88億20百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成25年4月30日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成26年1月31日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益（損失）に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,897	32,767
受取手形及び売掛金	65,371	65,387
有価証券	8,310	50
商品及び製品	20,275	17,579
仕掛品	13,277	11,405
原材料及び貯蔵品	17,110	19,150
繰延税金資産	547	562
その他	16,528	11,042
貸倒引当金	△205	△171
流動資産合計	186,114	157,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	100,129	102,092
減価償却累計額	△68,452	△71,005
建物及び構築物(純額)	31,676	31,087
機械装置及び運搬具	451,758	439,998
減価償却累計額	△401,103	△389,746
機械装置及び運搬具(純額)	50,655	50,252
工具、器具及び備品	23,044	22,963
減価償却累計額	△21,086	△21,291
工具、器具及び備品(純額)	1,958	1,671
土地	32,895	32,887
リース資産	1,482	1,514
減価償却累計額	△685	△830
リース資産(純額)	796	684
建設仮勘定	156,388	194,522
有形固定資産合計	274,370	311,105
無形固定資産		
のれん	175	3,456
リース資産	22	29
その他	7,757	6,810
無形固定資産合計	7,955	10,295
投資その他の資産		
投資有価証券	31,476	35,914
長期貸付金	4,017	3,567
繰延税金資産	965	971
その他	13,710	12,935
投資損失引当金	△21	△22
貸倒引当金	△337	△217
投資その他の資産合計	49,811	53,149
固定資産合計	332,137	374,550
資産合計	518,251	532,325

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,152	41,258
短期借入金	8,912	21,865
コマーシャル・ペーパー	4,000	4,000
1年内返済予定の長期借入金	22,144	19,666
リース債務	338	294
未払法人税等	948	1,269
繰延税金負債	1,377	507
賞与引当金	1,949	910
修繕引当金	1,755	2,072
製品保証引当金	94	46
事業再構築引当金	29	16
その他	35,923	23,372
流動負債合計	115,626	115,281
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	101,796	107,863
リース債務	514	436
繰延税金負債	5,993	7,388
退職給付引当金	969	1,064
役員退職慰労引当金	214	193
修繕引当金	2,687	2,671
製品補償損失引当金	1,276	912
環境対策引当金	156	136
事業再構築引当金	—	1
資産除去債務	5	5
その他	15,138	13,678
固定負債合計	178,753	184,352
負債合計	294,380	299,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,458	53,458
資本剰余金	57,670	57,670
利益剰余金	99,058	104,435
自己株式	△1,414	△1,424
株主資本合計	208,773	214,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,566	10,212
繰延ヘッジ損益	2,238	779
為替換算調整勘定	△1,023	1,137
その他の包括利益累計額合計	8,781	12,129
少数株主持分	6,316	6,421
純資産合計	223,871	232,691
負債純資産合計	518,251	532,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	189,058	207,920
売上原価	141,071	151,243
売上総利益	47,986	56,676
販売費及び一般管理費		
販売費	25,765	25,980
一般管理費	19,463	18,187
販売費及び一般管理費合計	45,229	44,168
営業利益	2,757	12,508
営業外収益		
受取利息	55	34
受取配当金	491	546
持分法による投資利益	354	426
為替差益	—	588
その他	1,149	1,110
営業外収益合計	2,050	2,706
営業外費用		
支払利息	1,729	2,307
休止部門費	1,589	1,943
その他	1,598	1,127
営業外費用合計	4,917	5,378
経常利益又は経常損失(△)	△109	9,835
特別利益		
固定資産売却益	687	185
投資有価証券売却益	156	379
特別利益合計	843	565
特別損失		
固定資産売却損	483	37
減損損失	339	226
災害による損失	2	—
固定資産処分損	355	296
関係会社株式売却損	—	78
製品補償関連費用	—	336
事業再構築引当金繰入額	255	—
事業再構築費用	632	—
その他	341	49
特別損失合計	2,411	1,024
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,676	9,376
法人税等	8,924	1,991
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△10,601	7,385
少数株主利益又は少数株主損失(△)	241	△106
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,842	7,491

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△10,601	7,385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	663	2,659
繰延ヘッジ損益	1,212	△1,459
為替換算調整勘定	304	2,051
持分法適用会社に対する持分相当額	44	212
その他の包括利益合計	2,225	3,464
四半期包括利益	△8,376	10,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,620	10,839
少数株主に係る四半期包括利益	244	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメリ ティ				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	56,841	30,227	52,810	35,338	13,839	189,058	—	189,058
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	721	6,366	136	1,428	15,953	24,606	△24,606	—
計	57,562	36,594	52,947	36,766	29,793	213,664	△24,606	189,058
セグメント利益又は 損失(△)	358	△1,247	3,993	1,758	1,871	6,733	△3,976	2,757

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用等であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントにおいて記載すべき重要な事項はありません。なお、報告セグメントに配分されていない減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては339百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき重要な事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき重要な事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニ ティー				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	63,186	27,469	58,016	39,455	19,791	207,920	—	207,920
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	829	7,772	131	1,126	15,991	25,850	△25,850	—
計	64,016	35,241	58,147	40,582	35,782	233,770	△25,850	207,920
セグメント利益	1,398	2,310	4,773	3,083	3,439	15,005	△2,497	12,508

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の「機能部材」セグメントを「ライフアメニティー」セグメントに名称を変更しておりますが、名称変更のみであり、当該報告セグメントの事業内容に変更はありません。

また、業績管理をより適切に行うため、従来は調整額に含めていた費用のうち、各セグメントへの関連が明確な費用については、各セグメントに直接負担させる方法に変更を行っております。

なお、変更後の基準により作成した前第3四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、「前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。